

第1回総合戦略推進委員会

要点記録

日時：平成30年6月28日（木）
午後6時30分～8時30分
会場：庁議室

次 第

- 1 開会
- 2 議題
 - (1) 委員長、副委員長の選出
 - (2) 昭島市総合戦略について
 - (3) 重要業績評価指標（K P I）の変更等について
 - (4) 平成29年度総合戦略の基本目標における数値目標の達成度
 - (5) 平成29年度総合戦略における具体的な施策の進捗状況報告及び評価について
- 3 その他
- 4 閉会

配布資料

事前送付資料

- ・資料1 重要業績評価指標（K P I）の変更等について
- ・資料2 平成29年度総合戦略の基本目標における数値目標の達成度
- ・資料3 平成29年度総合戦略における具体的な施策等進捗状況一覧

机上配布

- ・資料4 昭島市総合戦略庁内推進委員会要綱
- ・資料5 昭島市総合戦略推進委員会委員名簿

出席者（敬称略）

委員長・・・松本祐一（多摩大学総合研究所）

副委員長・・・八戸和子（立川公共職業安定所）

委員・・・水野宏一（昭島市商工会）、沼崎明大（多摩信用金庫）、勝見真之（連合多摩中央地区協議会）、齋藤久未（J:COM多摩）、樽松洋（公募市民）、山内昭裕（公募市民）

事務局・・・山下企画部長、萩原企画政策課長、辻子ども子育て支援課長、枝吉企画調整担当係長、高橋

1. 開会

○事務局より委嘱状についての説明

2. 委嘱状交付

○企画部長より各委員に委嘱状交付

3. 企画部長あいさつ

○只今2年任期の委嘱状を交付させて頂いたところだが、委員を引き続き引き受けていただいた方々、また新たに委員を引き受けていただいた方々、この度は大変お忙しい御身であるにも関わらず本推進委員会の委員を引き受けていただき、改めて厚く御礼申し上げます。

本市の総合戦略については、平成28年2月に、平成27年度から平成31年度までの5カ年の計画として策定した。総合戦略に掲げた人口ビジョンや昨今の出生数の推移からも明らかなように、将来的には必ずや本市も人口減少の現実と直面する事となると想定している。そうした中、その状況に如何にして歯止めを掛けられるか、もっと言えば人口を伸ばしていけるような取り組みを、確固たる戦略をもって具体的に実践していけるか否かによって、昭島市の明るい未来を描く事に影を落としかねない。こんな危惧を共有しながら、当時の国の動きに呼応する形で産・官・学・金・労・言、各界を代表する委員の皆様、そして市民公募委員の皆様による闊達なご議論の積み重ねをいただき、昭島市総合戦略が策定されたところである。

市としては、市民と行政の共通の目標である第5次昭島市総合基本計画に基づき、目指すべき将来都市像の「ともにつくる 未来につなぐ 元気都市 あきしま」の実現に向け、精力的にまちづくりを進めているところであり、総合戦略の推進にあたっては、総合基本計画との整合を図りながら、戦略的、一体的に施策の展開を図っていくと市議会、市民の皆様にも申し上げているところである。

委員の皆様方それぞれ本当にお忙しい中、大変な事をお願いして、誠に恐縮に存じますが、総合戦略に掲げましたKPI数値目標の達成状況など、PDCAサイクルの視点に立った検証評価について、特段のお力添えをいただきたく、是非本委員会において、闊達なご議論をお願い申し上げ挨拶とさせていただきます。

4. 委員及び事務局自己紹介

○各委員及び事務局自己紹介

5. 議題

(1) 委員長、副委員長の選出

○事務局案により、委員長に松本委員、副委員長に八戸委員が選出され一同の承認を得た。

(2) 昭島市総合戦略について

○事務局より総合戦略の概要について説明

委員長・・・事務局より概要について説明があったが、皆さんより質問があればいただきたい。特に初めて参加される委員の方からあればお願いしたい。

山内委員・・・KPIとはどういう略か。

事務局・・・総合戦略の冊子の用語集105ページに説明があるが、重要業績評価指標（Key Performance Indicator）の略である。

(3) 重要業績評価指標（KPI）の変更等について

○事務局より資料1「重要業績評価指標（KPI）の変更等について」に基づき説明

委員長・・・KPIというのはその事業がしっかりと成果を出しているのか数値として把握し評価するための指標となるものだが、そもそも設定した指標があまりにも現実

離れしていた場合は、その事業を評価してもあまり意味がないものになってしまうので、昨年度、委員会の中で議論があり、勿論計画に記載があるので簡単には変更できないが、あまりにも現実離れしているものに関しては直すという事も大事な判断ではないかという意見が出たので、それを踏まえて今回変更していただいた。

この件についてご意見等あればいただきたい。

樽松委員・・・ 多子出産お祝い事業について、何故450人したのか。行政が何も出来ないことであり、今後考えてみると非常に目標達成するのは難しいと思うし、本当に450人でいいのか。

事務局・・・ 子ども子育て支援事業計画の中間年の見直しがあり、そこで掲げた目標と総合戦略の目標と一定の整合を図っていないと市民の皆さんに対する説明も一貫性のないものになってしまうので、そのような背景もあり、子ども子育て支援事業計画の目標数値と合わせたK P I の変更とした。

また、確かに実際の実績値にもあるとおり、減少傾向にはあるが、その中でも別計画の位置付けと、総合戦略についても出生率を上げていこうという大きな目標を掲げているので、若干高めに設定した。樽松委員の意見についてはおっしゃるとおりだと受け止めるが、掲げた目標に取り組んでいこうと市の姿勢も一定あるとご理解いただきたい。

樽松委員・・・ K P I の達成に向けて、どのような取り組みやP Rを実施されているのか教えていただきたい。

事務局・・・ 後程基本目標1から基本目標4までの数値目標でも説明があるが、女性の社会進出、女性活躍推進法に基づく働き手の確保という視点もあり、女性が働いていくという中で、総合戦略の策定時に、結婚・出産・子育ての分野で調査も実施したところである。希望としては二人目以降も欲しいけれどもなかなか生活費の部分で難しいとあり、雇用改善が必要であるという部分もあった。総合戦略でも雇用の確保の部分や女性でいうところのM字曲線の部分が課題視されており、そういった部分についても解消を図っていくものである。また、基本目標3においては、女性が働くためにも家庭と仕事の両立、子育てとの両立という部分での環境、例えば保育園の待機児童解消など、総じてこういう部分をバックアップしていく必要があると考えており、総合戦略に掲げた様々な取り組みを進めている。特にこれまで保育所、学童クラブの待機児童の解消については、市も力を入れて取り組んできたが、大規模な開発等があり今年度保育園の待機児童は増加する結果となった。引き続き、待機児童の解消も含めながら、家庭と仕事、子育てと仕事のバランスを取りながら、まちづくりを進めていきたいと考えている。

委員長・・・ 他のK P I 変更の部分でも意見等あればお願いしたい。変更については、減らしたのもあれば、増やしたものもあるので、特に病児保育や休日保育など委員会でもニーズが高いので、増えていくだろうという意見があり変更した。

子ども子育て支援課・・・ 今回増えた一時預かり事業について、幼稚園や専用スペース、保育園で行っており、その中で特に幼稚園型と呼ばれる所が利用者数が増えている。

委員長・・・ 幼稚園型というのは幼稚園で一時預かりをするということか。

子ども子育て支援課長・・・ 幼稚園型については、幼稚園の終了時間が早いため、幼稚園に通っているお子さんでその後も延長して行う事業となっている。

齋藤委員・・・ 去年の実績値より低い目標値になっているのは何故か。

子ども子育て支援課長・・・ 子ども子育て支援事業計画の中間年の見直しの中で、一時預かり事業、病児・病後児保育については、事業福祉審議会で図っており、本審議会が開催された時点では、3か年の平均値を勘案する中で設定させていただいた。結果として平成29年度終了時点では実績を超える状況に至った。

勝見委員・・・ これから更に増加していく予想は付くが、受け入れ体制、定員は問題ないのか。

子ども子育て支援課長・・・ 一時預かり事業については、待機児童も昨年より増えているので、それも含めて展開をしていく必要があると考えている。

委員長・・・ K P I を超えるという事は、それだけニーズがあるという事なので、それ自体は悪い事ではないと思うが、定員の問題は出てくる。その話はK P I とはまた別の話となり、その体制をどのように構築してくのかという、待機児童を含めた形で統合的に行っていかなければならない。それだけ昭島市では女性が働くところのニーズが高まっているという事は確かだと思う。

樽松委員・・・ 実績徴収に係る補足給付事業については変更なしでいいか。

事務局・・・ こちらについても年々数値が上がってきていること、また、今後新制度の幼稚園や認定こども園が常設される見込みがあり、開設後に給食費が補足給付の対象となることから、こちらの利用者数も増えると見込まれるので、K P I の変更は行わなかった。

樽松委員・・・ 公共施設等総合管理計画の策定のK P I 設定について、平成48年度までとあるがなぜそこまで長いのか。

事務局・・・ 計画策定については、国からの要請があり、全国の自治体が一斉に策定したものである。国においても道路等を含めた公共施設が老朽化してきており、その対応が課題となっている。また、地方においてもその対応に大きな財政負担が掛かることから課題となっている。更には、人口減少が見込まれる中で公共施設のあり方自体を見直していかなければならず、各自治体において公共施設等総合管理計画の策定をした。

本市でも、外部委員会を設置し計画策定してきたが、計画が20年と長く、当然見直し等が必要となるので、5年間（短期）、10年間（中期）、20年間（長期）とそれぞれの計画期間毎に目標を定め、見直しを図っていくものである。

樽松委員・・・ K P I の設定について、設定された内容について事業が公共施設等総合管理計

画の策定となっているので、新たに事業も設定した方がいいのではないか。

事務局・・・ 確かに樽松委員がおっしゃる通り、平成28年度に公共施設等総合管理計画の策定は達成しているのですが、今後、公共施設等総合管理計画に基づく20年先を見据えた個別施設計画の策定を、目標として新たに掲げて、K P Iを設定したいので、再度調整させていただきたい。

(4) 平成29年度総合戦略の基本目標における数値目標の達成度

○事務局より資料2「度総合戦略の基本目標における数値目標の達成度」に基づき説明

樽松委員・・・ 資料2の基本目標1については、平成29年度（平成28年度事業）評価報告書に記載の国勢調査から作成している表と一緒に変更はないと思うが、数値を比較している平成27年と平成22年の順番が入れ替わっているが何故か。同じ方が見やすい。

事務局・・・ 只今ご意見を頂いたので、今年度の評価報告書には昨年度と同様の並び順で掲載する。

山内委員・・・ 人口減少に歯止めを掛けるには、若い女性に住んでももらい子育てをしてもらえばいいのではないか。その為には、昭島市はどんな所なのか、いい所などをPRして、PRだけではなく実際に住んでみたら凄くいい所だったと思ってもらえるような事業を展開していく事が重要だと思う。

説明があった資料で20歳から39歳までの人口は減っているのですが、そこが一番問題であると思う。その人口を増やすには、若い女性に住んでももらい、そこで男性と一緒にってもらう事で解消出来ると思うが、その為にはどんな事業を展開していったらいいのかという事が重要だと思う。

委員長・・・ 元々総合戦略は、人口ビジョンと組みになって策定されており、おっしゃる通り人口減少の問題をどうするのかという枠組みの中で考えられていて、特に国でも人口を増やすためには、外から連れてくるか、または中で出産してもらって増やすかどちらかしかない。若い女性がどれだけ減ってしまうのかという事を中心に分析をして、このままでは問題があるものなどを実際に統計上出している。そういう事が背景にあるので、それは考えながら作った計画になっている。基本目標1の「安定した雇用を創出する」にも女性の雇用創出であったり、基本目標2の「昭島へ新しいひとの流れをつくる」でもどうやったら昭島に来てもらえるのか、例えば、自然や水についてPRしたり、さらには、実際に住んでくれた人が出ていかないように結婚して子どもを産んでもらうために、どのようにしたらいいのかを、基本目標3「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」に掲げている。

山内委員・・・ これだけ多い項目を全て行うというよりは、若い女性に住んでもらうための事業を、特に力を入れて取り組んでいくのがいいと思う。例えば、昭島市をPRするのに、昭島の水というのは素晴らしい水だと思うし、自分でも家の水道を飲んでいるが本当に美味しいと思う。この水をPRするのに、ペットボトルの作成だけではなく、昭島は水のまちだと、多摩川があり、玉川上水、その分水があったりと

そういうものを合わせてPRしていき、とても水が美味しく分水や湧き水が豊富で、大変暮らしにはいい所だというPRをしていけばいいと思う。また、昭島のいい所は半分田舎で半分都会である。本で見たが一番出産が多いのが東京ではなく、鹿児島県の徳之島で、それを考えると都会のビルに囲まれた中よりも、昭島市のように半分田舎のような所が子育てにもいいのではないかと思う。そういう所に焦点を合わせて取り組んでいけば効果も上がると思う。

委員長・・・ 一つの項目に絞って取り組んでいくのも、一つの戦略だと思うので、一つの方向性としては十分にあり得る事だと思う。

基本目標1の「安定した雇用を創出する」の部分で、全国の状況や他の場所と比べてどのように評価・分析されるか、八戸副委員長に伺いたい。

八戸委員・・・ 全国的な状況として、35歳未満の方は減っていて、中高年齢の方が増えている状況になっている。実際にハローワークに仕事探しに来る方達も顕著な傾向として、少子高齢化の影響で若い方が減って、高齢の方が増えている状況になっている。気になったのが、非常に厳しい見方をすると市内に常住する就業者で市外に働きに行っている方も含まれていて、全てが市内で働いている方ではないと思うので、そういう意味でいうと、女性の正規職員とパート・アルバイト率がそれぞれ上がっているのが、女性の働く環境も少しずつ整ってきて働く女性が増えた、この資料から分かる。ただ、男性のところを見ると、正規職員は減っており、パート・アルバイトは上がっているのが、雇用環境が全体的にいいのかということ、今好景気ではあるが、パート・アルバイトの求人が増えている状況である。実際求人はあるが、人手不足業界に偏ってしまっているというのがとても課題となっている。

有効求人倍率について正確な数字ではないが、東京都(2.09)、全国(1.54)ほどで、そういう意味ではとても人手不足が強くなっていて、企業からはいい人材がいなかったかの問い合わせが来ている状況である。ただ、先程の建設、警備、介護、福祉などの業界からの問い合わせが多い。

また、多摩地区の特徴として、東京都全体では有効求人倍率が2.09倍であるが、多摩地区はやっと1倍に届いたところであり、その中でも立川の管理では0.8倍ほどで1倍に届いていない状況となっている。昨年の12月と今年の1月はやっと1倍ほどになっているが、ここで求職者が活発に動く時期でもあるので、1倍を切る状況が3、4か月続いている。

立川にマザーズハローワークがあるが、女性の方たちがとても熱心に就職活動をされている。しかしながら、保育園に入れなかつたりするのがとてもネックになっており、実際に仕事の紹介をする時に、病気になった時の体制がないと会社が困るなど、紹介する時はいいと言ってくれたが、実は面接の時にそこを言われてなかなか採用に至らないという話をよく聞いている。病児保育を充実してもらうことは、働きたい女性にとっては非常に助かる事業だと思う。

基本目標3について、婚姻数で平成29年度は平成28年度に比べて増えているので取り組みが実を結んだのか、ただ、婚姻数は増えているが、出生数は増えておらず、保育所入所待機児童数も増えているので、子どもは生まれていないが待機児童が増えているという事は、他から転入してきているということか。

事務局・・・ 昭島市の東側の地域で大規模な開発があり、また、その他でも大規模な集合住

宅の建設もあり、東側の地域で待機児童が増えている状況にある。働きながら子育てをしている世帯の方々が東側の地域に集中して転入してきたと思われる。

八戸委員・・・ 婚姻数が増えているので、これから出生数についても増加する可能性もある。

基本目標2の「市への来訪者数の増加を目指す」について、資料では平日、休日ともに滞在人口が減少しているが、基本目標4では転入者数が増えているのでその辺りはどのように分析されているのか。

事務局・・・ この数値は国が提供しているビックデータ（RESAS）の数値を使用して検証している。このデータは携帯電話端末等のGPS機能を利用して、人口分布を推計しており、何処に人が流れているのかを追っているデータである。このことから、携帯電話等を持っていない人については把握出来ていないため、その影響があるのではないかと考えている。しかしながら、滞在人口は減少しているため、更なる昭島市の魅力をPRする広報活動を戦略的に行い、各イベントにも訪れてもらえるような事業を展開していきたい。

委員長・・・ 来訪者数については市内在住等は分かるのか。

事務局・・・ 単純に昭島市に滞在している人口数なので市内市外については把握出来ない。

沼崎委員・・・ 基本目標4について、転入者が増加しているがこの転入者が他県からの転入して来ているのか、近隣から転入して来ているのか分析していただきたい。多摩地域で転入増のところが多いが、他県からの転入が非常に多いというのがデータからみると特徴的で、その辺の分析が出来ているとこれから対策を練るうえで工夫が出来ると思う。

基本目標1については、事業者数の推移について知りたい。例えば企業誘致があったり、企業が廃業したとか特殊要因があったのかどうか。事業承継の実績はセミナーを開催して35社集まっていますが、35社は関心があるから来ていると思うが、実態を捉えておく事が重要だと思っている。いざそうなった時に対策が取れるようにしておくことが雇用を守ることに繋がる。

35社は非常に多いが、全て市内の企業なのか。

水野委員・・・ フォレストイン昭和館で、平成29年11月に東京都商工会連合会と日本政策金融公庫と昭島市の共催で実施。その一つである東京都商工会連合会には27の商工会が参加しており、その中の小平、府中などから様々な事業者が参加した。

委員長・・・ 開発が進んでいる場所もあるので、昭島の場合はかなり流動的に色々変わっていく事が特に東側の地域について予想される。そういった状況をどこまでここに反映するのか、どの数字を使用するのかは難しいところである。国勢調査などの当たり前の数字だけではなく、何か参考に出来る数値があれば委員会の中で委員からも紹介いただき、多角的に評価・分析出来るのでお願いしたい。

(5) 平成29年度総合戦略における具体的な施策の進捗状況報告及び評価について

○事務局より、基本目標1について、資料3「総合戦略における具体的な施策 進捗状況一覧」に基づき説明

事務局・・・ 本日の議題は基本目標1についてポイントとなる部分を説明して、KPIの達成状況について各委員に意見を伺う予定だったが、本日委嘱状の交付等もあり、予定していた時間も迫っているので、議題については基本目標1についての説明で終了させていただき、次回委員会の冒頭で各委員から意見を伺い、基本目標2、3の説明という形で進めさせていただきたい。

委員長・・・ この後基本目標1について議論するとかなりの時間を要すると思われるので、本日はここまでとする。各委員は次回までにこの後の部分についても確認していただきたい。

勝見委員・・・ 1点だけ質問させていただきたい。まちコンの開催について日程は決定しているのか。次回の本委員会までに終了しているか確認したい。

事務局・・・ 日程や具体的な実施内容については、福生市と連携しながら詳細を詰めており、以前昭島市で開催した際には1日限りの開催だったが、今回はバスツアーで色々な所を回るようにしたり、数回に分けて開催する事も検討している状況である。また詳しい情報が入り次第提供する。

3. その他

事務局・・・ 今後の委員会について、この推進委員会は本日を含めて今年度は3回予定しており、第2回については基本目標1の意見を伺い、その後基本目標2、3のポイントとなる部分を説明させていただき、委員から意見を伺いたいと考えている。第3回については、基本目標4のポイントを説明後に、委員から意見を伺い、それと併せて報告書の形についても回毎の進捗状況に合わせて次回のところで事務局案を提示して確認していただきたいと考えている。

また、スケジュールについて、第2回を7月、第3回を8月に開催したいと考えており、その後市側の状況として9月の市議会定例会の総務員協議会において、この委員会で頂いた意見を踏まえて市議会に報告し、市議会からも意見をいただきたいと考えている。

次回については7月25日（水）の開催を予定しているが、都合が悪い委員がいたら教えていただきたい。（八戸副委員長、齋藤委員が欠席）

それでは委員の過半数を超えているので実施するが、欠席する委員においては、意見等あれば事前にメール等で伺い、次回の委員会で報告し委員会の意見に反映させたいと考えているのでお願いしたい。

また、3回目については8月17日（金）に開催したいと考えているので、都合が悪い委員がいたら教えていただきたい。（全員出席）

4. 閉会

委員長・・・ 以上をもって、第1回総合戦略推進委員会を閉会とする。